

決算説明会

2021年12月期 第3四半期決算

2021年11月9日



global bridge HOLDINGS

-
- 1 新規施設の開設状況について P. 3 – P. 6
 - 2 2021年第3四半期決算について P. 7 – P.13
 - 3 決算期の変更に伴う通期業績予想の修正について P.14
 - 4 中期経営計画策定の基本的考え方について P.15 – P.24

新規施設の開設状況

認可保育園 6施設（合計定員：420名、平均定員：70名）（東京都：2施設、千葉県：3施設、大阪府：1施設）

	施設名称	住所	入所定員数（名）	開設日
1	あい・あい保育園 東葛西園	東京都江戸川区	70	2021年4月1日
2	あい・あい保育園 第二新柏園	千葉県柏市	60	2021年4月1日
3	あい・あい保育園 豊四季園	千葉県柏市	90	2021年4月1日
4	あい・あい保育園 第二流山おおたかの森園	千葉県流山市	60	2021年4月1日
5	あい・あい保育園 大淀中園	大阪府大阪市	80	2021年4月1日
6	あい・あい保育園 大森園	東京都大田区	60	2021年5月1日

多機能型事業所 1施設（定員：10名）

	施設名称	住所	入所定員数（名）	開設日
1	あい・あいプラス 新柏	千葉県柏市	10	2021年4月1日

直営施設7か所を新たに開設



あい・あい保育園 大森園



あい・あい保育園 大淀中園



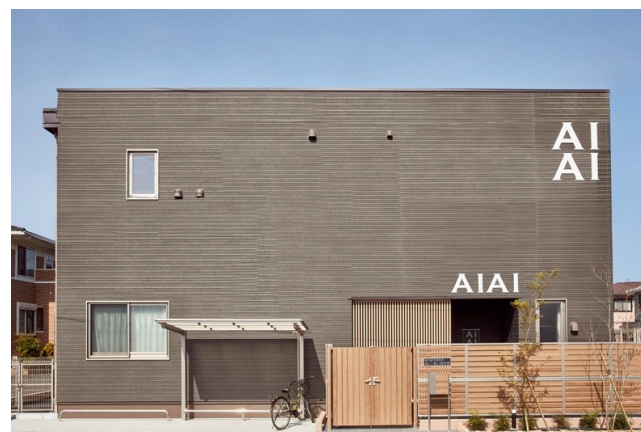
あい・あい保育園 第二流山おおたかの森園



あい・あい保育園 東葛西園



あい・あい保育園 第二新柏園



あい・あい保育園 豊四季園

2021年12月～2022年4月の新規開設予定(2021年11月1日時点)

認可保育園 5施設 (合計定員：340名、平均定員：68名) (東京都：3施設、千葉県：2施設)

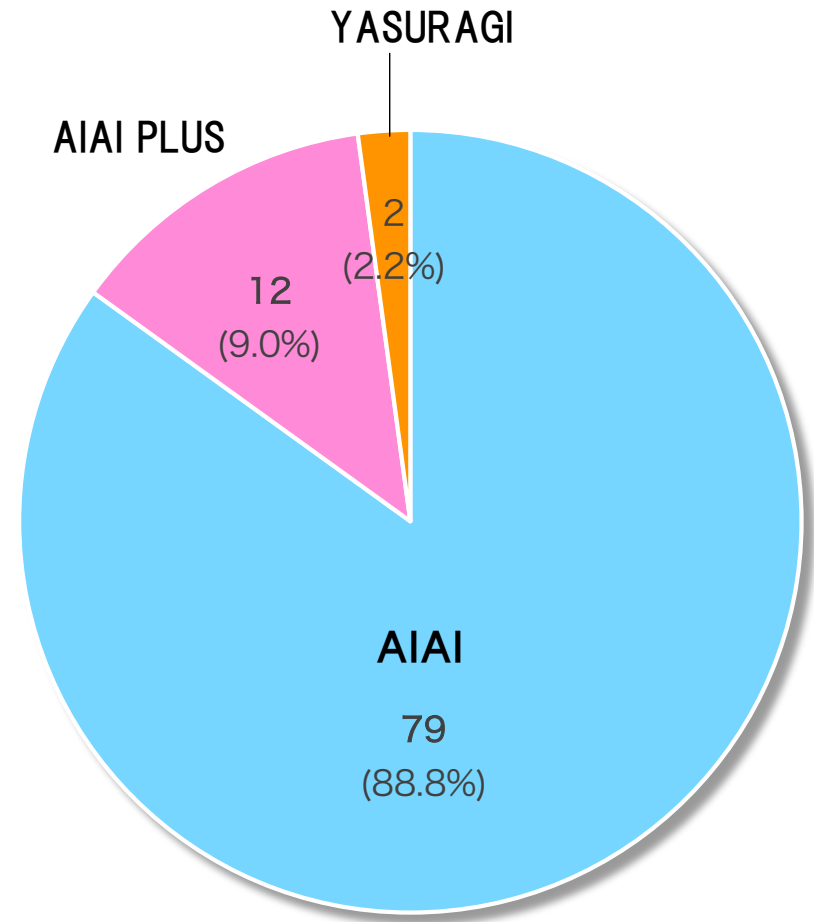
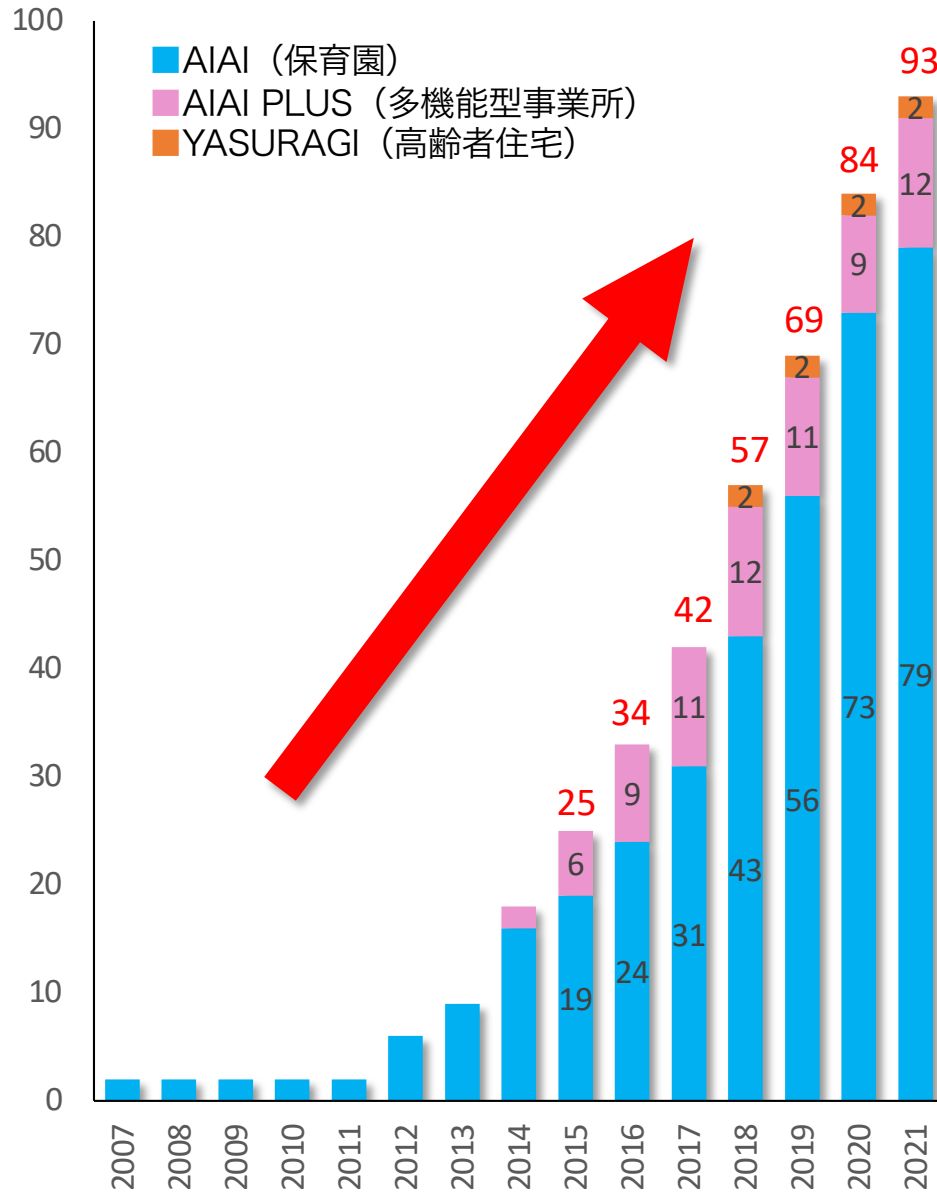
	施設名称 (仮称)	住所	入所定員数 (名)	開設日 (予定)
1	あい・あい保育園 第二東池袋園	東京都豊島区	50	2022年4月1日
2	あい・あい保育園 大泉学園	東京都練馬区	80	2022年4月1日
3	あい・あい保育園 大崎園	東京都品川区	60	2022年4月1日
4	あい・あい保育園 高柳園	千葉県柏市	90	2022年4月1日
5	あい・あい保育園 南流山園	千葉県流山市	60	2022年4月1日

多機能型事業所 5施設 (定員：50名)

	施設名称 (仮称)	住所	入所定員数 (名)	開設日 (予定)
1	AIAI PLUS 麴町	東京都千代田区	10	2021年12月1日
2	AIAI PLUS 千葉ニュータウン中央	千葉県印西市	10	2021年12月1日
3	AIAI PLUS 八千代中央	千葉県八千代市	10	2021年12月1日
4	AIAI PLUS 土気	千葉県千葉市	10	2021年12月1日
5	AIAI PLUS 南流山	千葉県流山市	10	2022年4月1日

直営施設数の推移

(施設)



*上記のほか、生活介護施設「AIAI FACTORY」を1施設運営。

2021年第3四半期決算の状況

- ・売上高は、4月の0歳児入園児数が一時的に想定を下回ったものの、施設数の増加や既存施設の充足率向上により利用者は順調に増加したことから、**前年同期比対比増収**。
- ・職員配置の適正化などで**営業損失が大幅に改善**。一方で、新規開園数の減少により開設補助金が大きく減少したため、経常利益は減益。

(百万円)

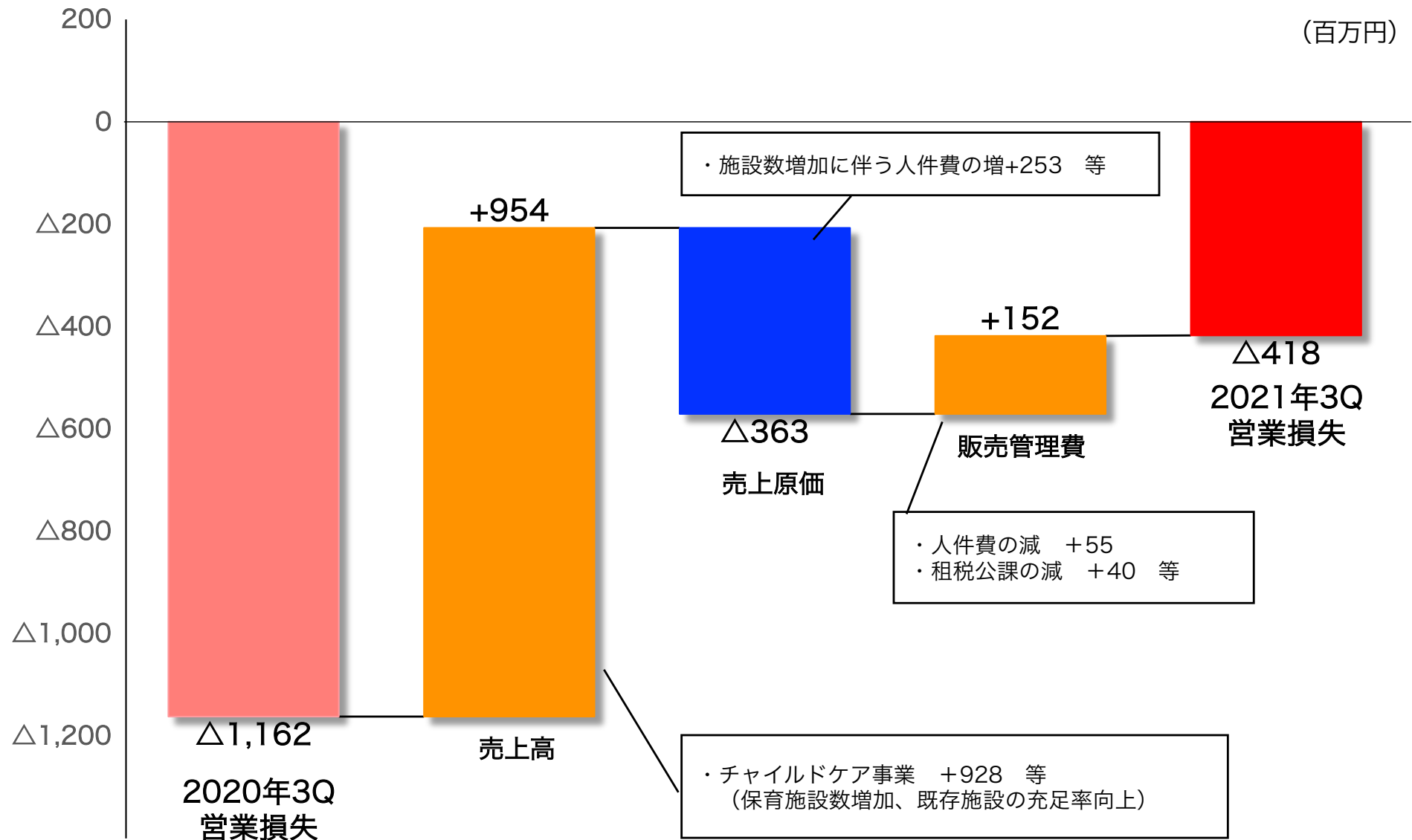
	2020年12月期 第3四半期	2021年12月期 第3四半期	
	実績	実績	前期比
売上高	6,030	6,984	+15.8%
売上原価	5,900	6,264	+6.1%
売上総利益	129	720	+456.1%
販売管理費	1,291	1,139	△11.7%
営業損益	△1,162	△418	—
営業外収益	1,559	592	△62.0%
営業外費用	229	114	△50.2%
経常利益	167	59	△64.6%
当期純利益	87	5	△93.9%

※ 単位未満切捨。小数点第2位四捨五入。

※ 2021年度より施設開園にかかる諸費用の表示方法を変更。従来、施設開園前にかかる諸費用は売上原価に計上していたものの、費用負担の実態を明確にし、損益区分の適正化を図るため、「開園準備費」として営業外費用への計上に変更。

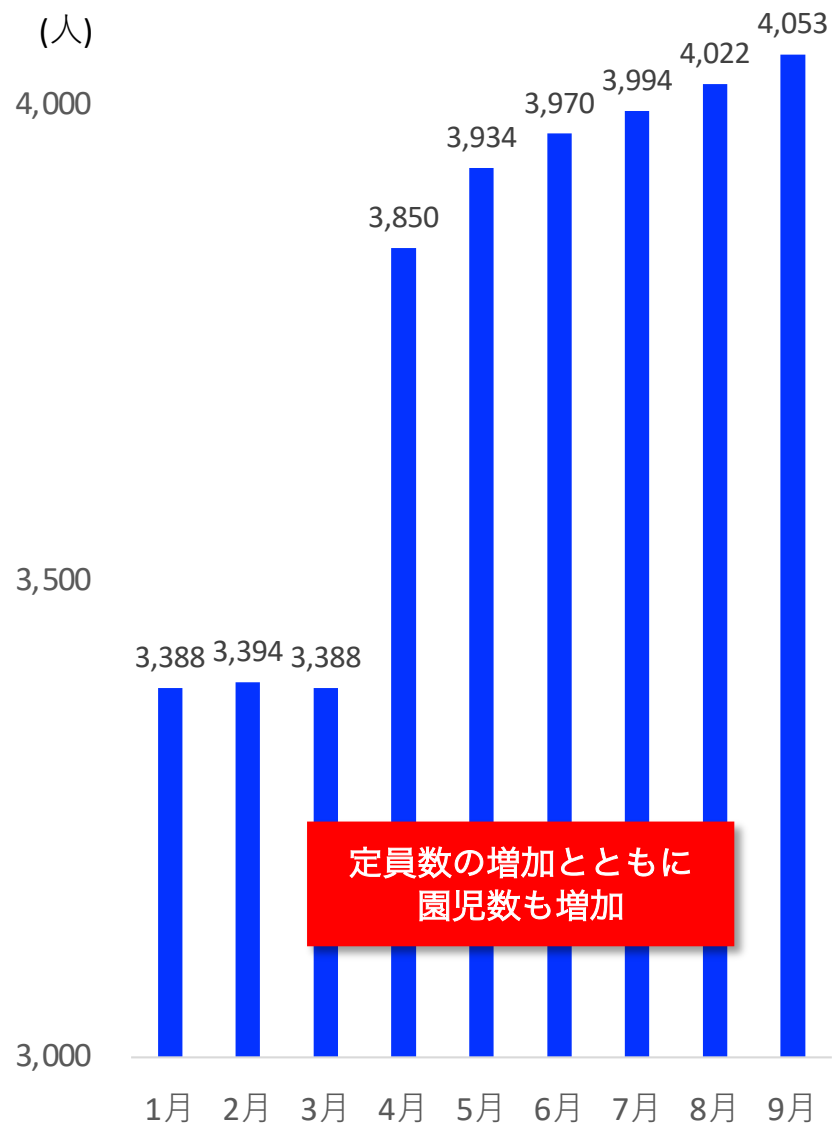
これに伴い2020年度の数値も当該表示方法の変更を反映。

前期からの営業損益の推移分析

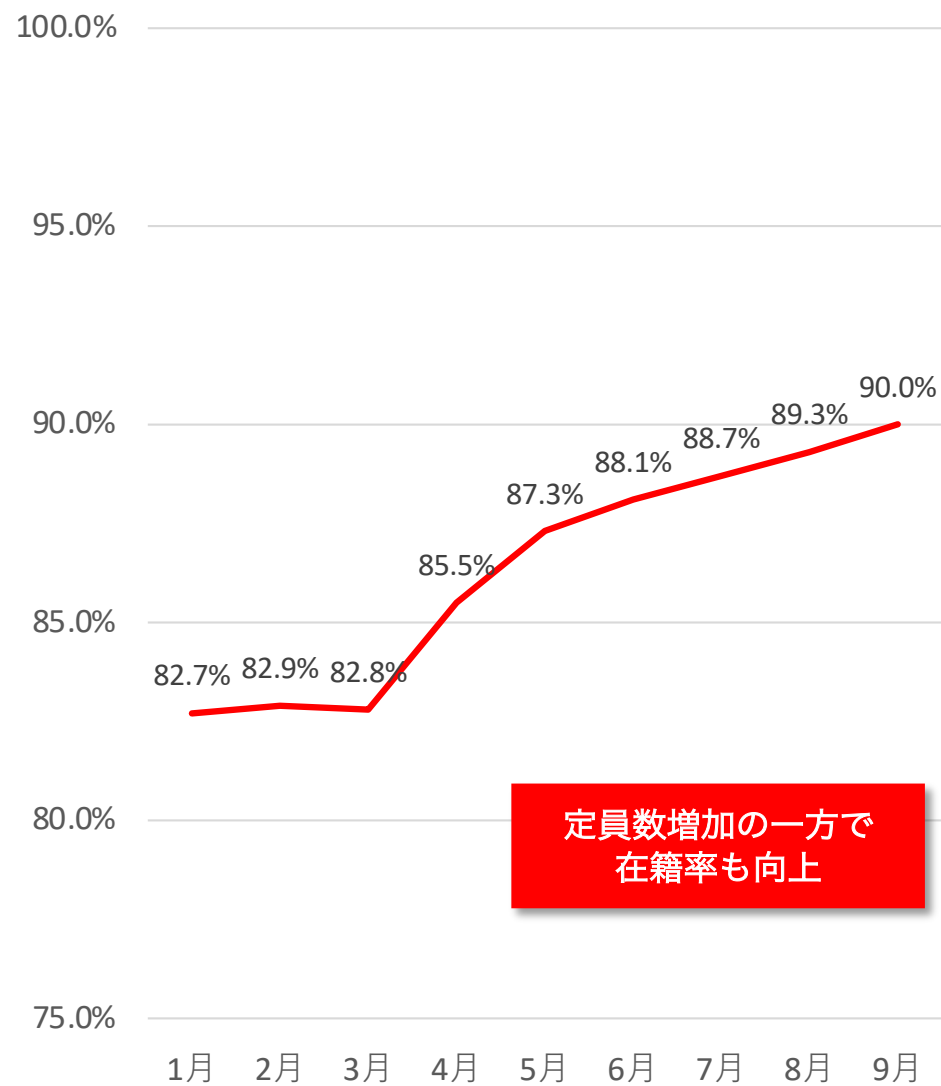


※ 単位未満切捨。

園児数の推移



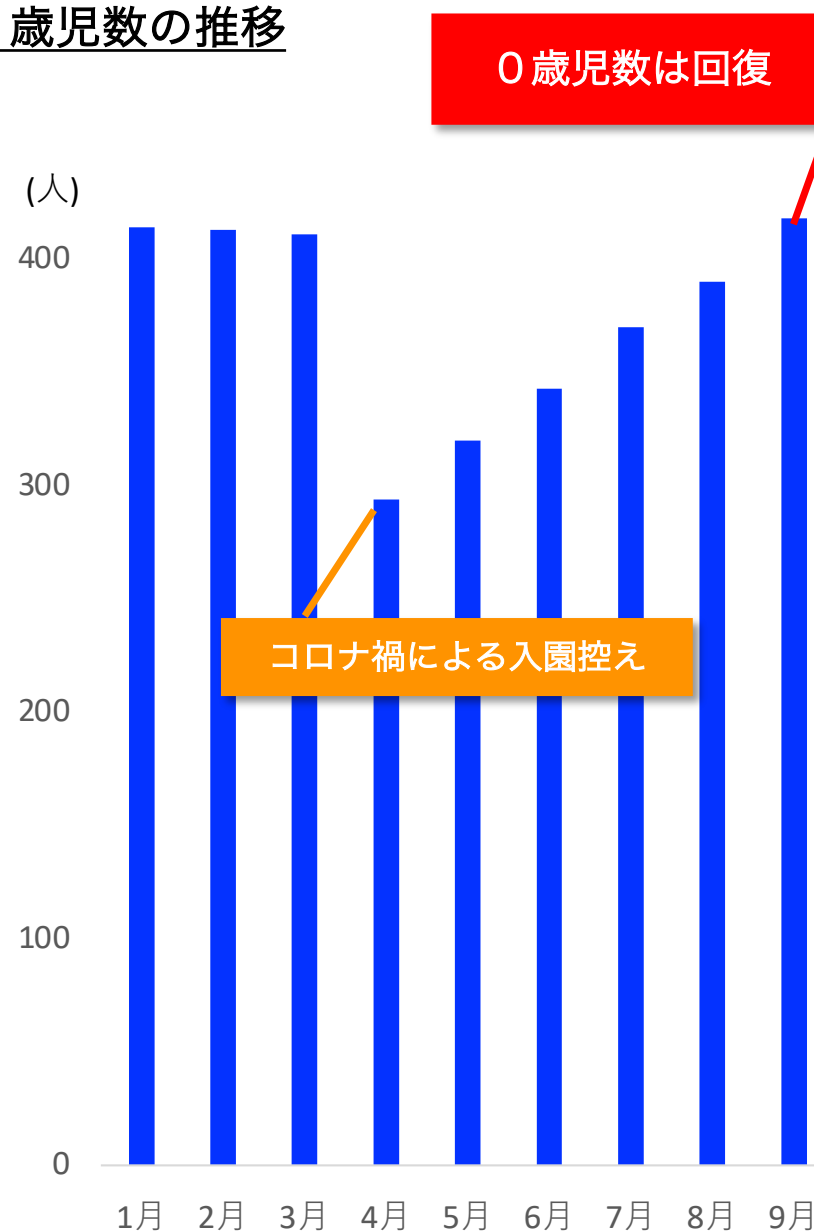
在籍率の推移



園児数(年齢別)の状況

	2021年9月時点 在籍者数(人)	在籍率
0歳児	418	97%
1歳児	793	102%
2歳児	832	99%
3歳児	795	94%
4歳児	667	82%
5歳児	548	69%
合計	4,053	90%

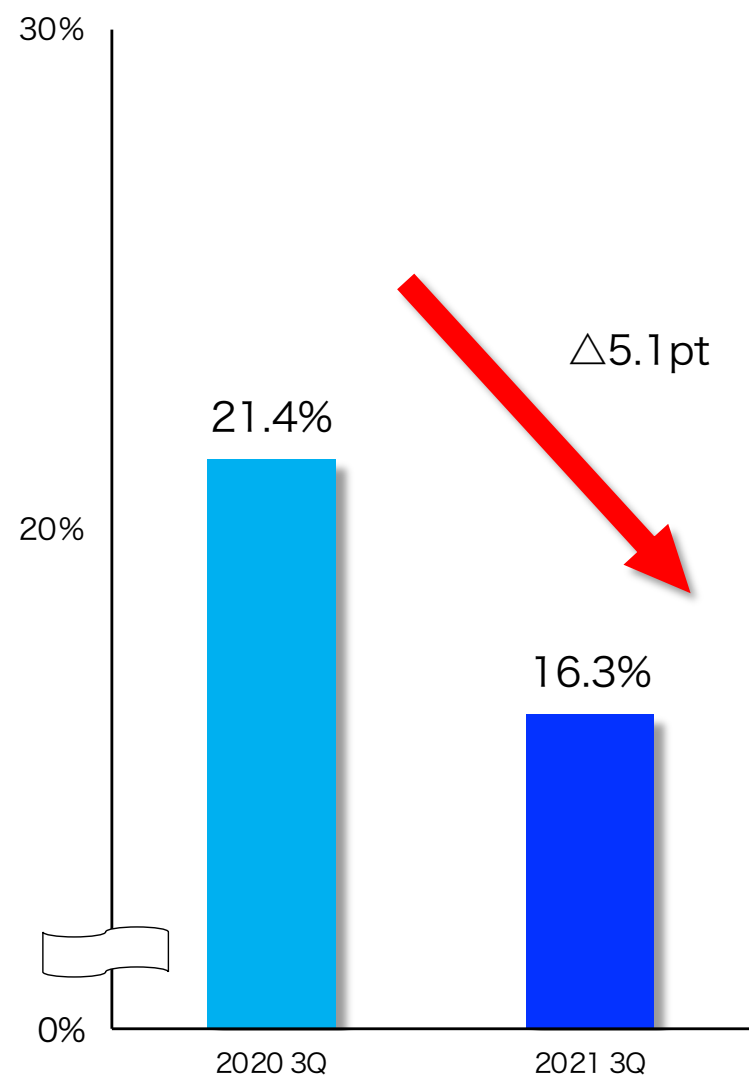
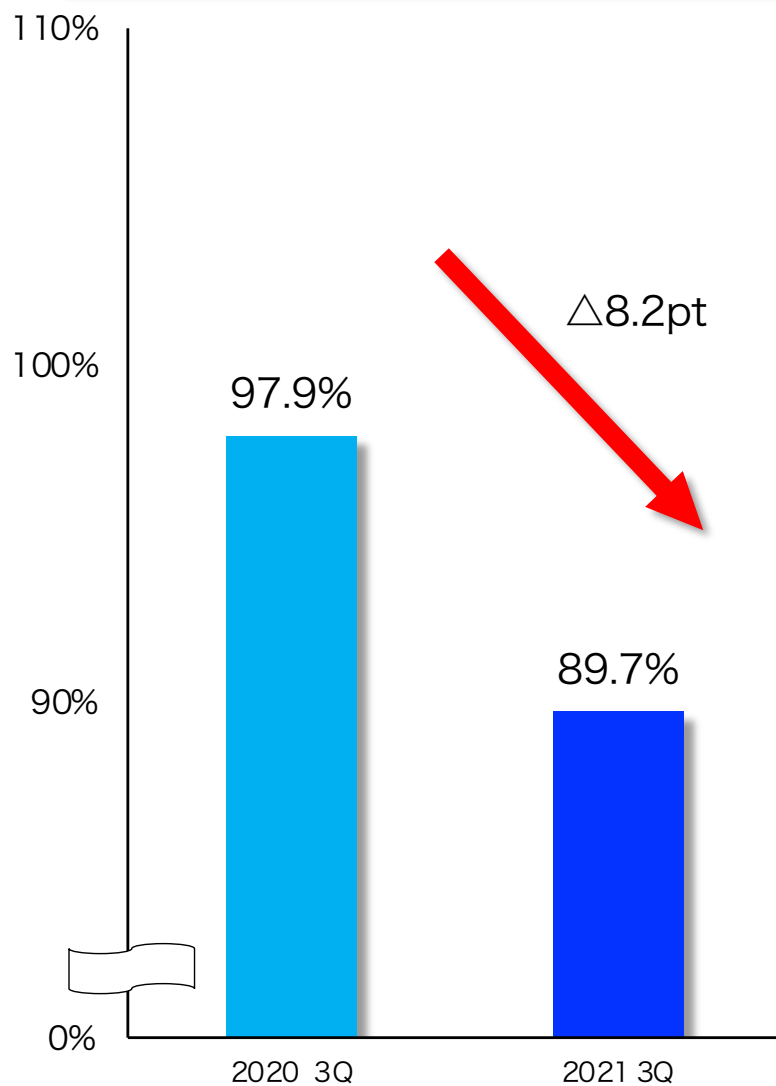
0歳児数の推移



売上高原価率（四半期連結累計期間）

売上高販管費率（四半期連結累計期間）

営業原価・販管費ともに前年同期から大きく改善



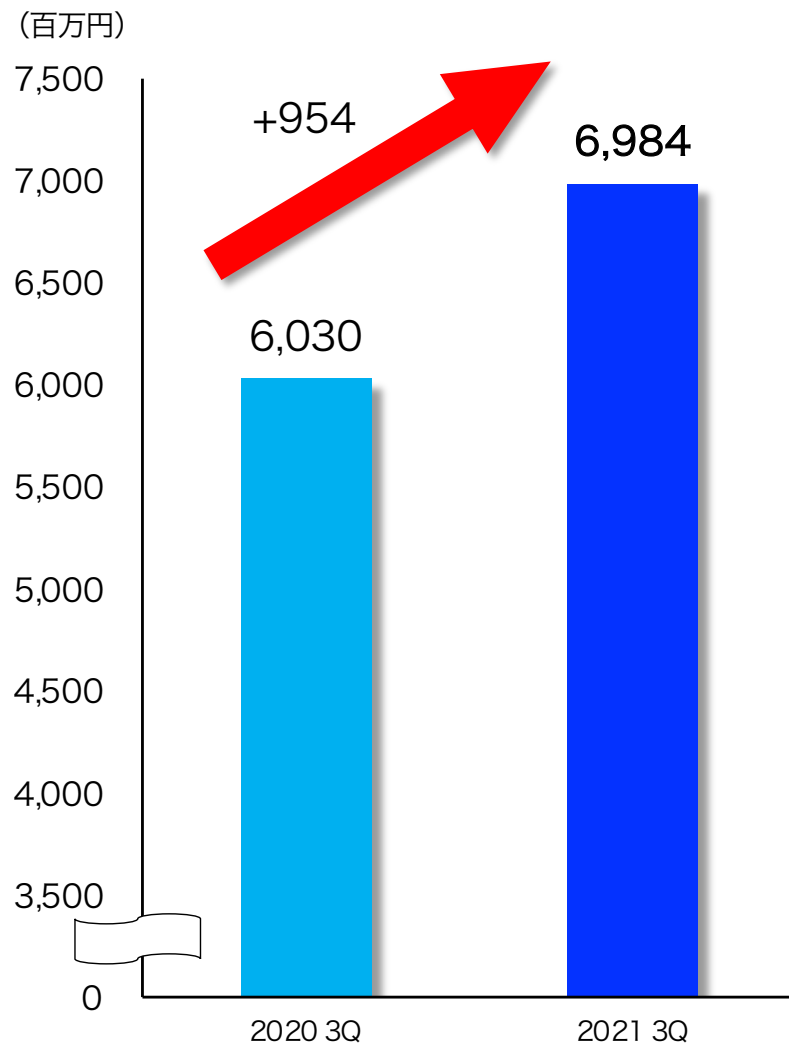
※ 小数点第2位四捨五入。

© 2021 global bridge HOLDINGS Co., Ltd.

売上高・営業損益の推移

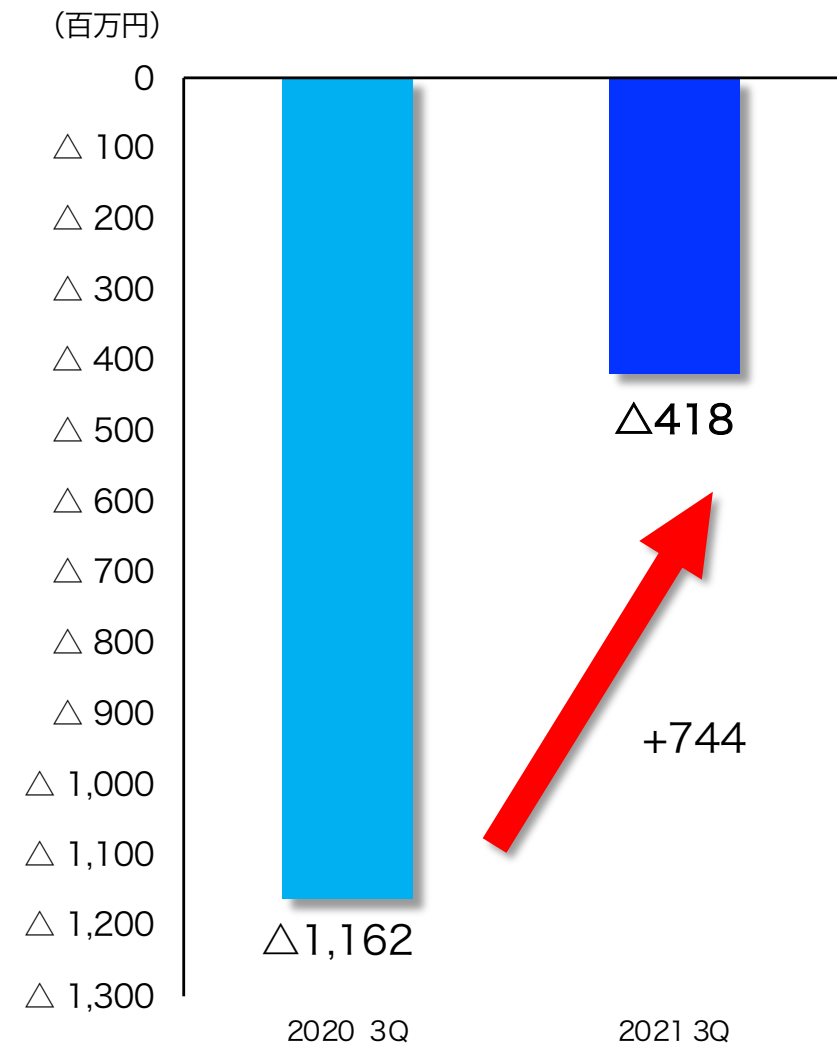
売上高（四半期連結累計期間）

売上高は前年同期から増加

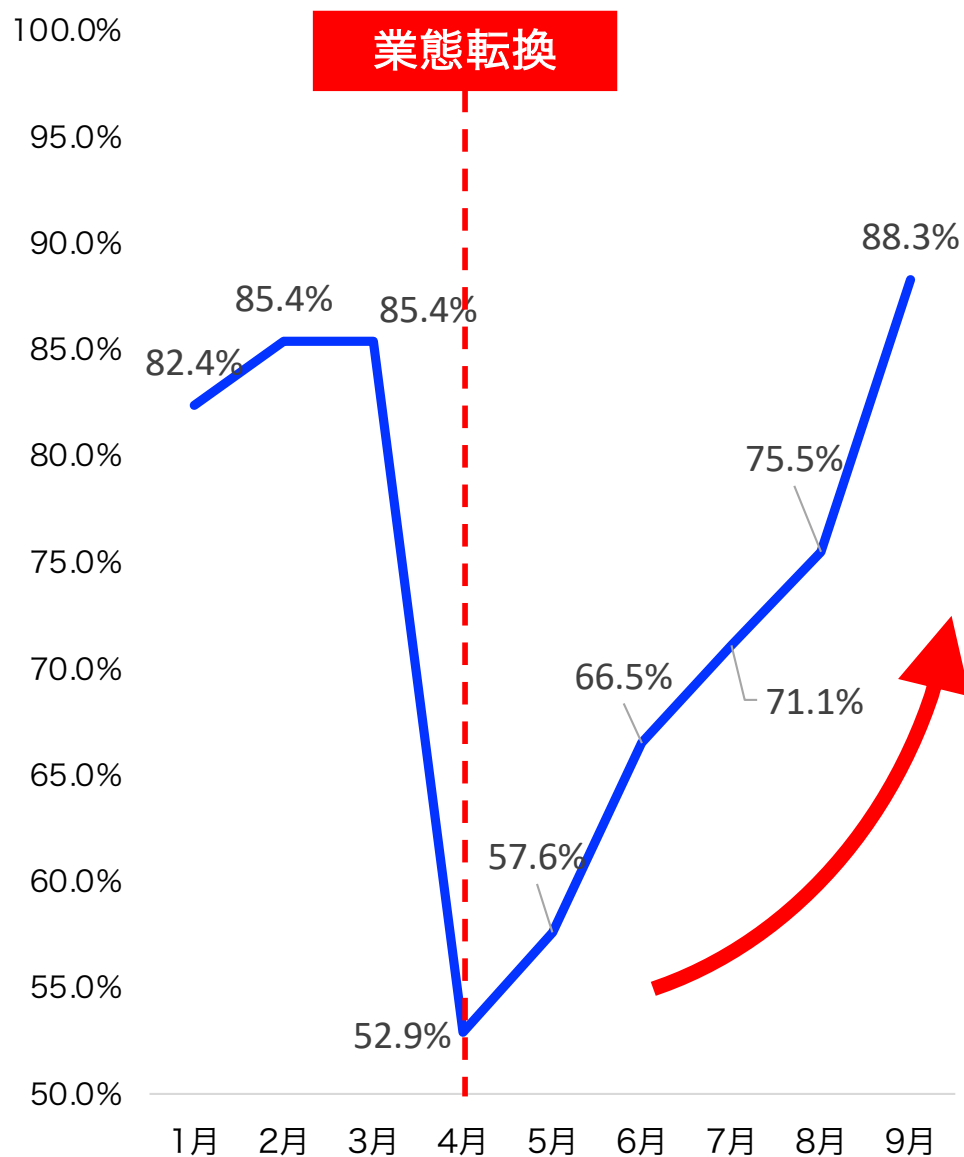


営業損益（四半期連結累計期間）

営業損失は前年同期から改善



※ 単位未満切捨。



専門的なプログラムの提供を通じて
売上総利益を大幅に改善

1施設あたり売上総利益を改善

2021年3月 (業態転換前)	➡	2021年9月 (業態転換後)
▲3万円		50万円

※1か月の1施設あたり平均売上総利益



※ 2021年4月に放課後等デイサービス（にじ）から多機能型施設（AIAI PLUS）へと業態転換。

決算期の変更に伴う通期業績予想の修正

- ①売上高：0歳児入園者が一時的に想定を下回り減収となったものの、施設数の増加及びその後の既存施設の充足率向上等、直近の状況も踏まえ、さらに決算期3カ月延長の業績予想を加味し、11,800百万円の見込み。
- ②営業利益：売上の減収があるものの、主力の保育事業で直近の営業黒字化を達成していることから赤字幅が縮小。他方、今後はテック事業にて営業体制の構築と機能拡張によるシステム開発（CCSIII）費用の増加を見込む。
- ③経常損益：開設補助金を見込む。

※ 2021年度より施設開園にかかる諸費用の表示方法を変更。従来、施設開園前にかかる諸費用は売上原価に計上していたものの、費用負担の実態を明確にし、損益区分の適正化を図るため、「開園準備費」として営業外費用への計上に変更。これに伴い2020年度の数値も当該表示方法の変更を反映。

	売上高	営業損益	経常損益	当期純利益	1株あたり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（12ヶ月）（A）	9,733	△226	185	111	41.86
今回修正予想（15ヶ月）（B）	11,800	△400	200	120	44.38
2021年第3四半期実績(累計)	6,984	△418	59	5	1.98
2021年10月～2022年3月予想	4,815	18	140	114	—
増減額（B-A）	2,067	△174	15	9	—
増減率（%）	21.2	—	8.1	8.1	—
（参考）前期連結実績 （2020年12月期）	8,318	△1,266	276	150	57.51

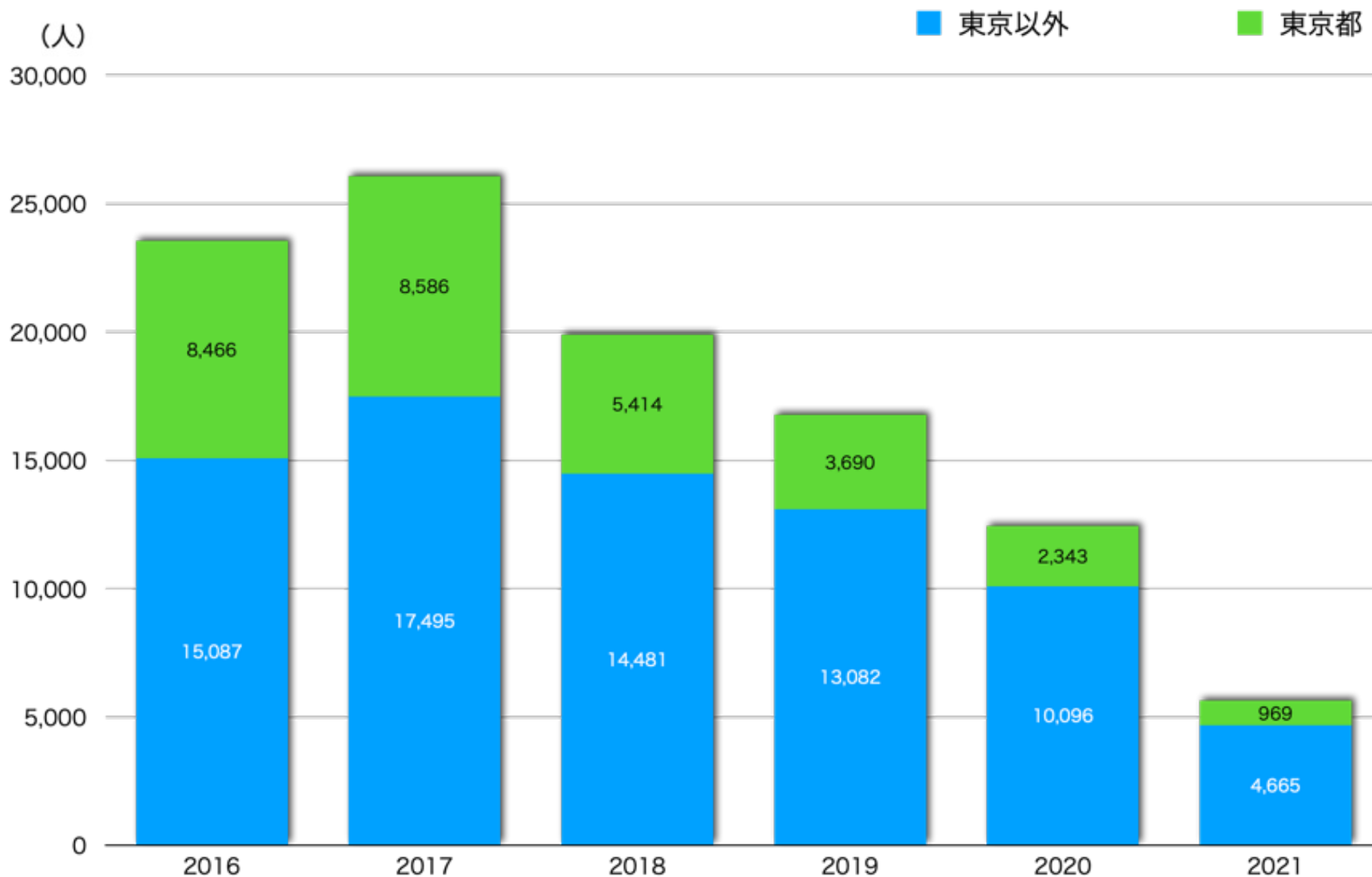
※ 計数は単位未満切捨・小数点第2位四捨五入のため、合計は一致しない場合がある。

1 2022年5月の公表を目指し、セグメントごとに売上・利益を最大化するための重要な指標を策定。

2 指標に影響を及ぼす要因を洗い出し、リスクを最小化し機会を最大化する計画を策定。

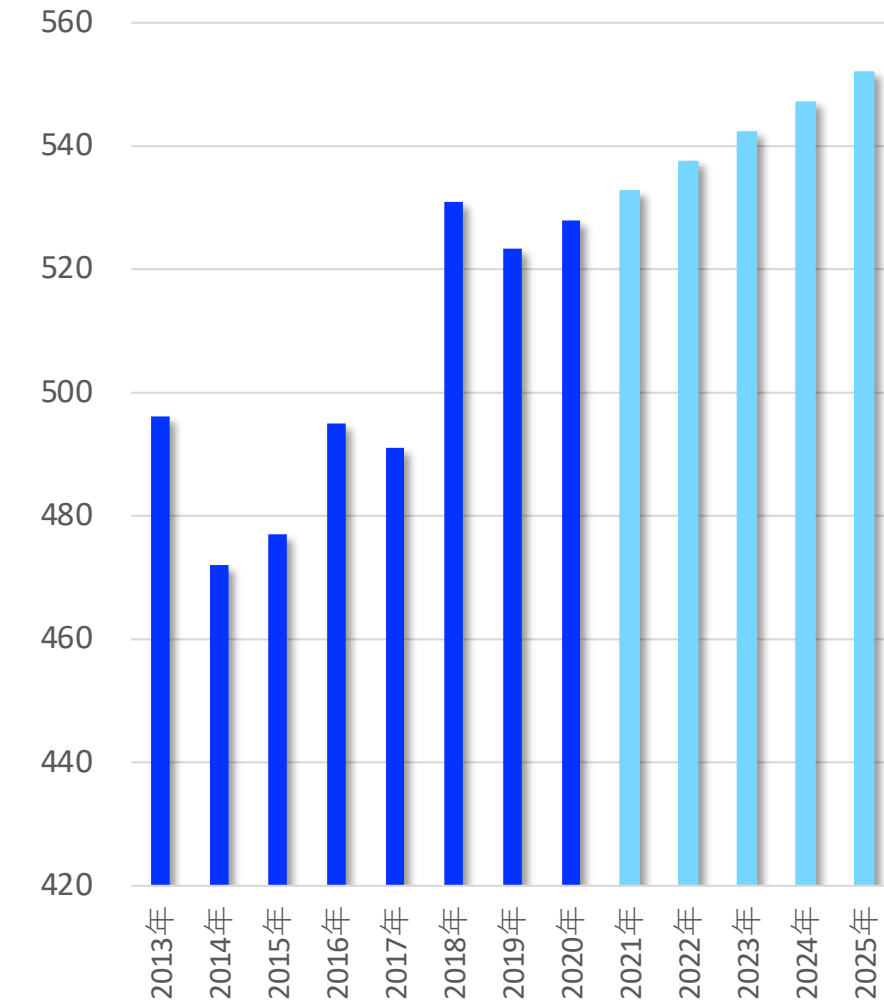
3 保育の個別最適化により人口問題の解決を目指す。

待機児童数の推移



子ども1人あたり教育費の推移

(千円)



A I A I
3つの教育プログラム
(グループのコンテンツ)



思考



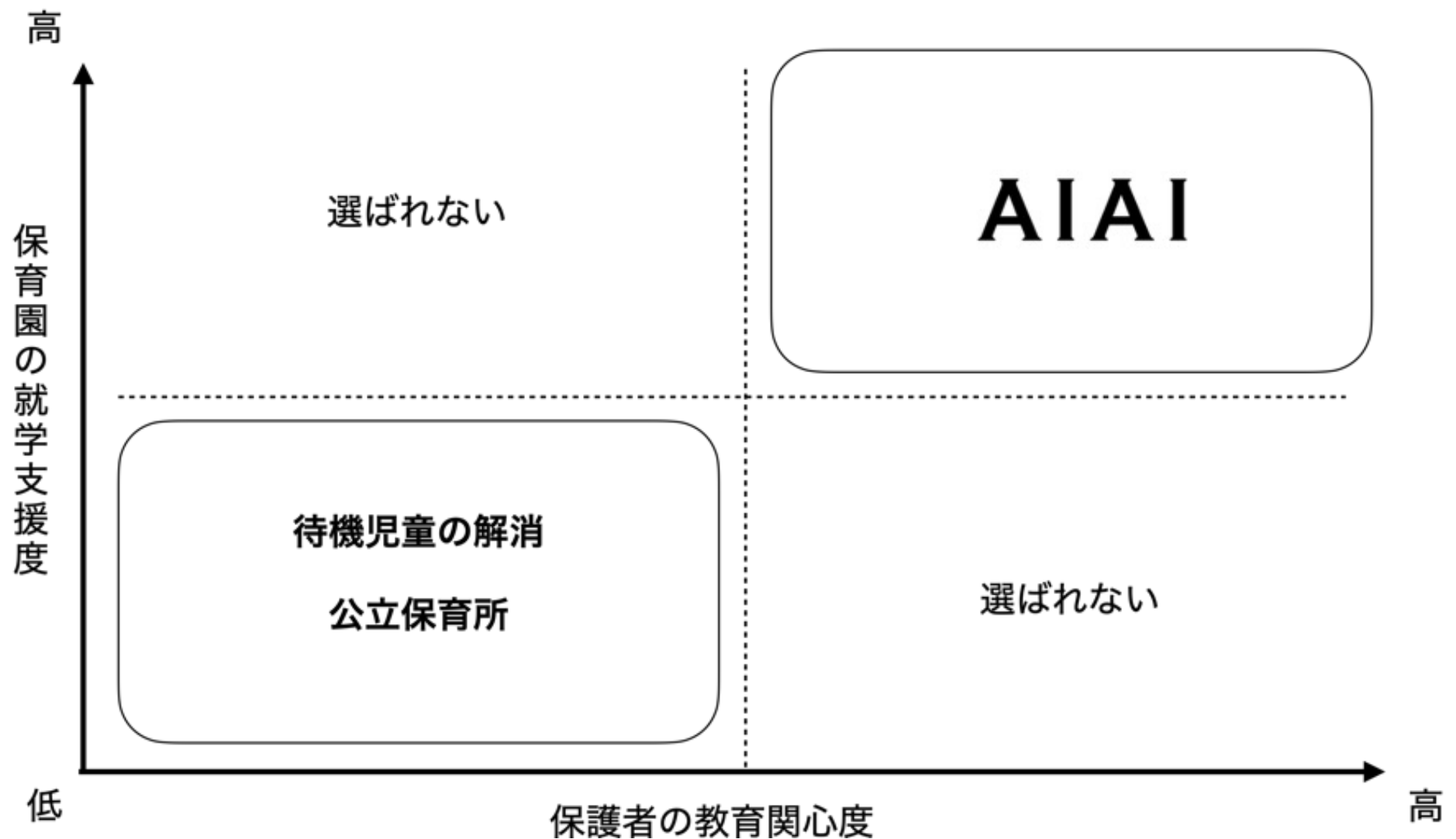
体操



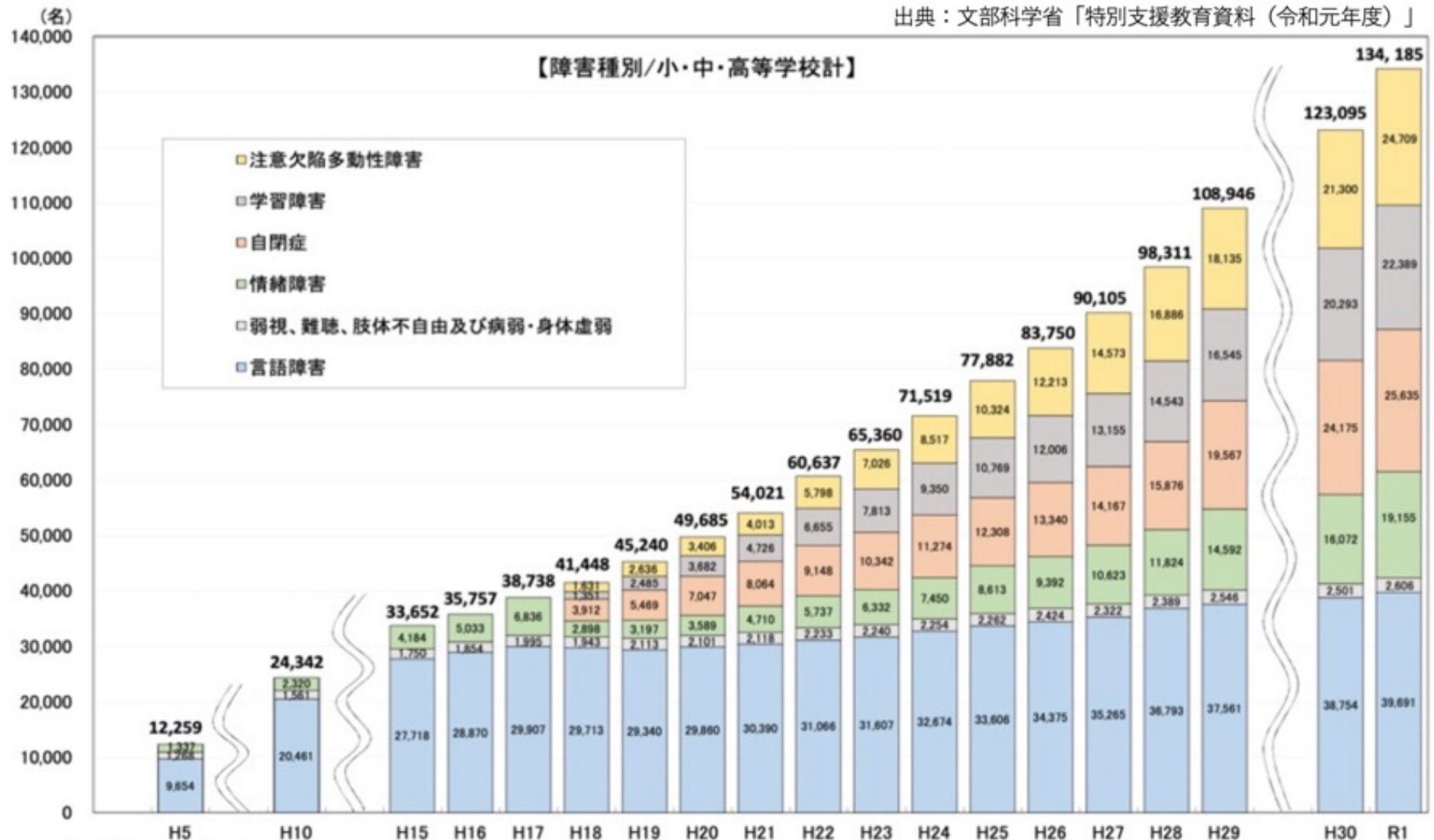
英語

・「一家計の消費構造の変化—子どもの減少と相反する一人あたり教育費の増加」（参議院「経済のプリズム」）参照
 ・「家計調査」及び「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」（総務省）より作成

今後の保育業界のポジショニング



事業環境(児童発達支援事業)

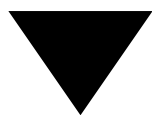


※各年度5月1日現在。
 ※「注意欠陥多動性障害」及び「学習障害」は、平成18年度から通級による指導の対象として学校教育法施行規則に規定し、併せて「自閉症」も平成18年度から対象として明示(平成17年度以前は主に「情緒障害」の通級による指導の対象として対応)。
 ※平成30年度から、国立・私立学校を含めて調査。
 ※高等学校における通級による指導は平成30年度開始であることから、高等学校については平成30年度から計上。
 ※小学校には義務教育学校前期課程、中学校には義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程、高等学校には中等教育学校後期課程を含める。

登校園管理の方法

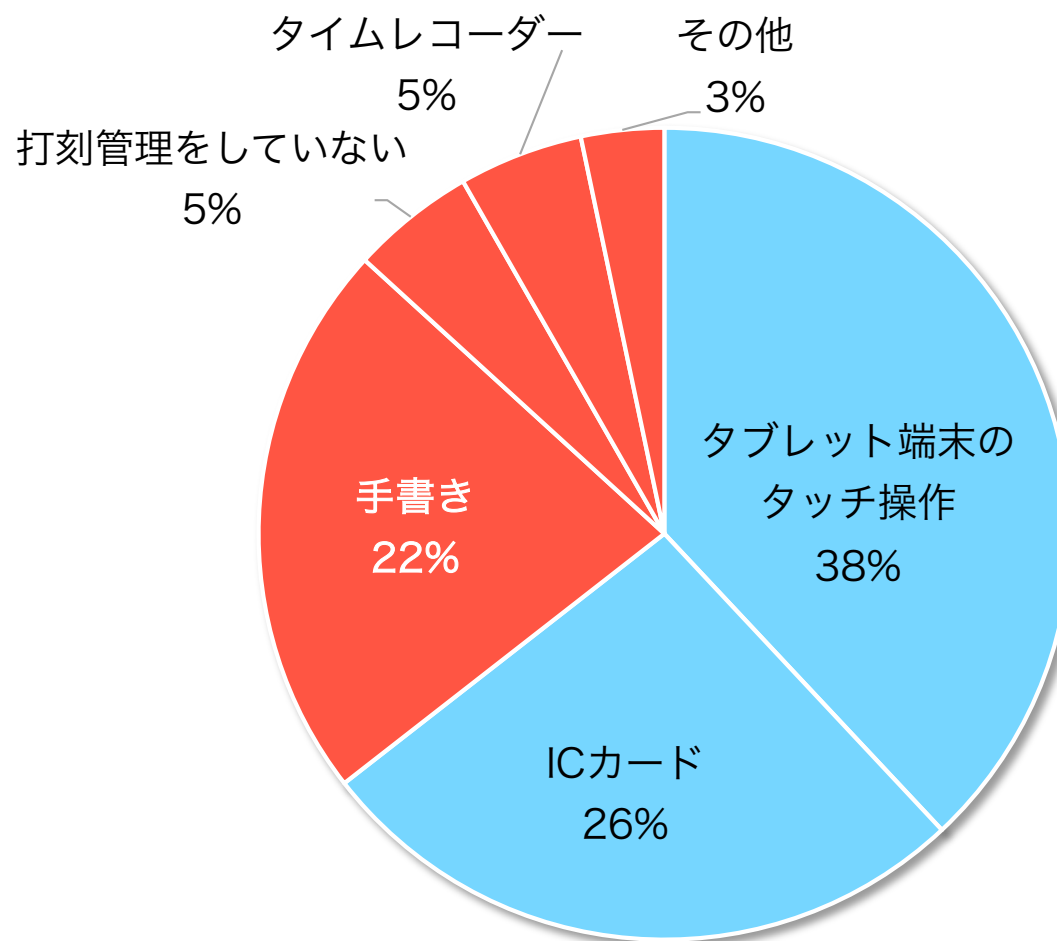
※2020年6月実施、保育施設向けアンケート

保育施設のうち**35%**が
園児の登降園記録について
「手書き」・「打刻管理していない」等



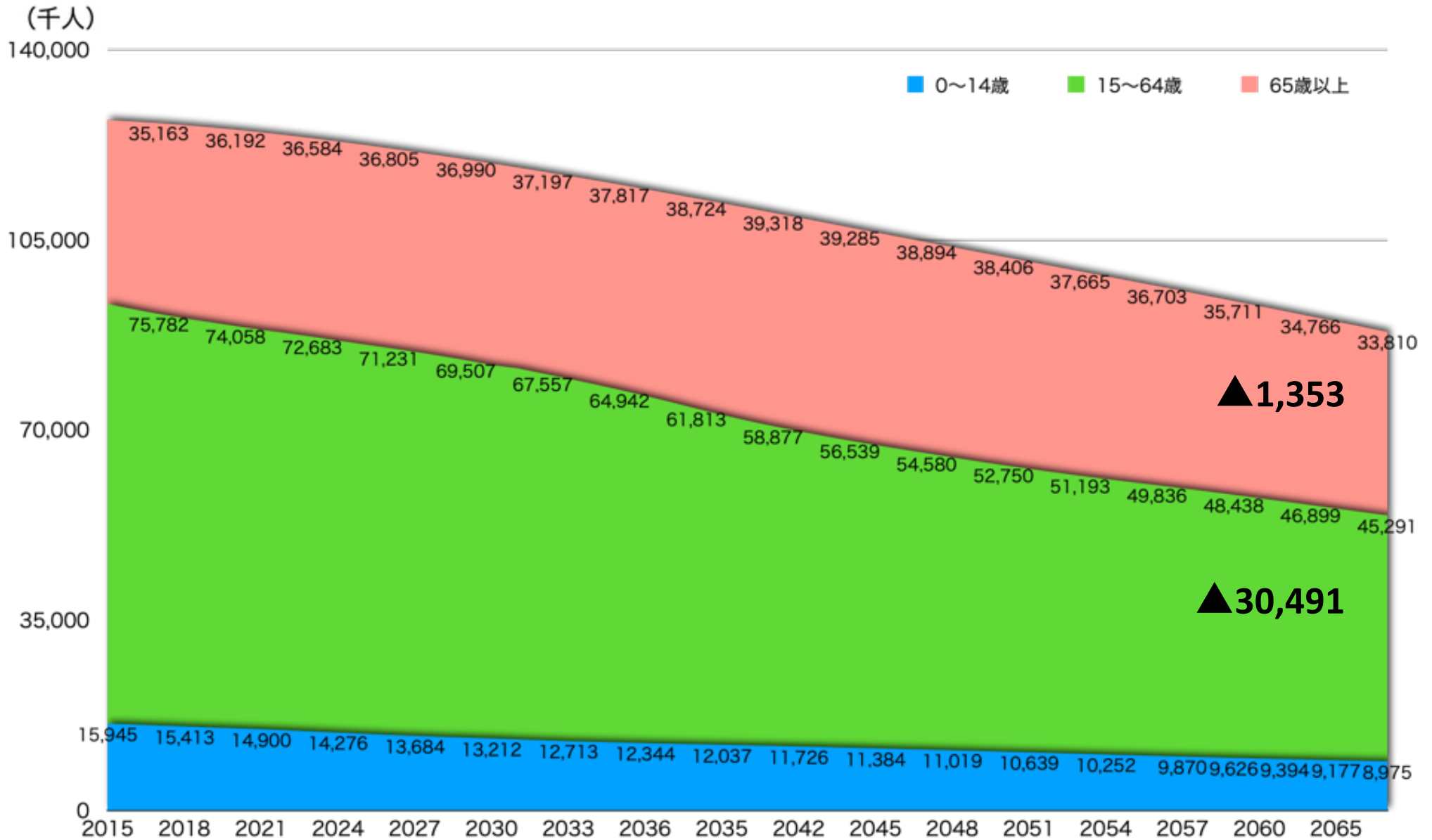
全国約5.6万箇所の
保育関連施設*のうち
3分の1以上が未開拓市場

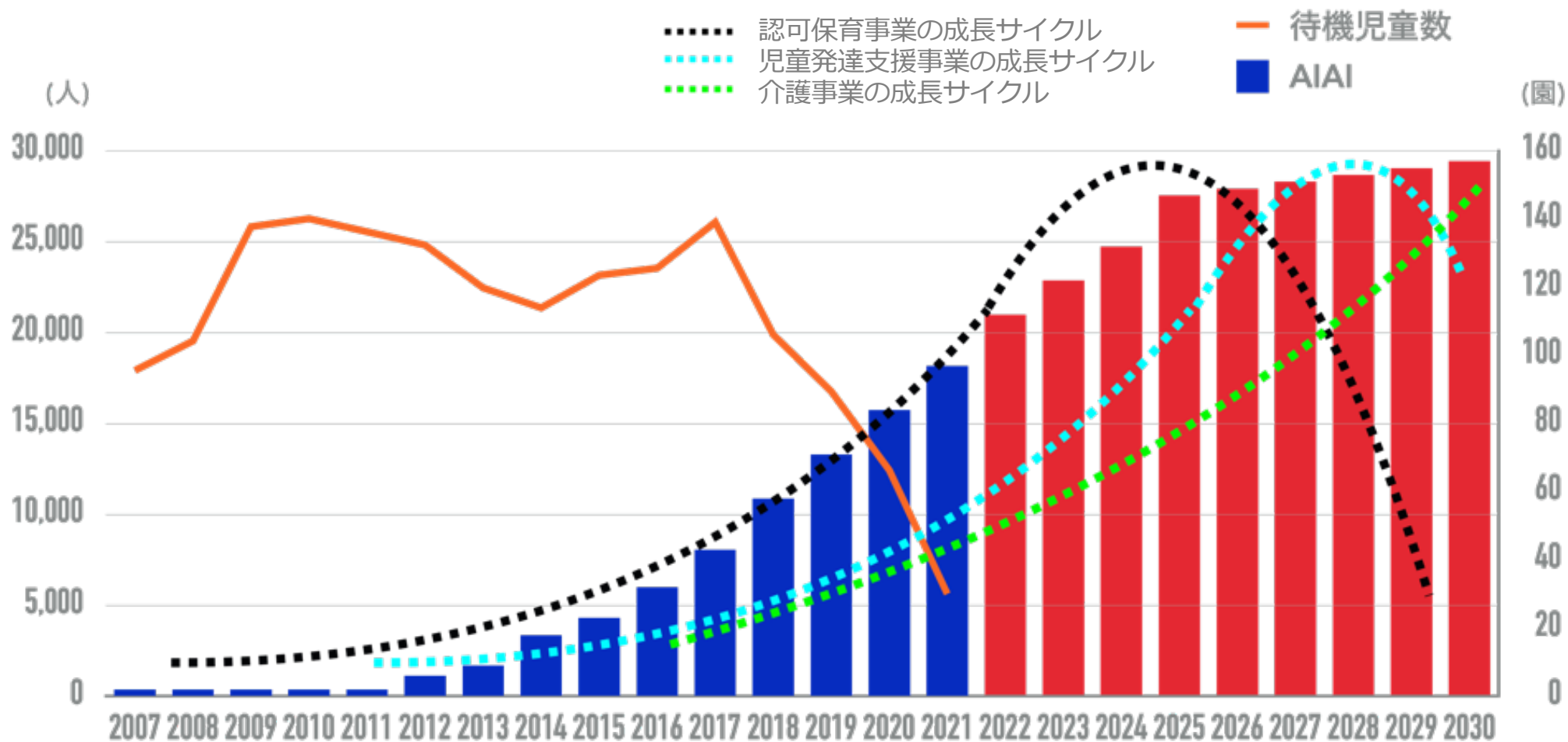
*保育関連施設：保育園・幼稚園・子ども園



日本の将来推計人口

国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」(出生中位・死亡中位)より作成





認可保育

創業期

成長期

成熟期

児童発達支援

創業期

成長期

成熟期

シェアの拡大／顧客データの解析／持続的な収益

認可保育事業	安定的な収益基盤・データベース基盤の維持拡大
児童発達支援事業	AIAI PLUS拡大のための積極的な投資
テック事業	保育ICT市場におけるシェア拡大のための投資
エルダリーケア事業	2030年代介護ピークに向けた基盤整備

ブランド力の強化(商号の変更)

持続的な成長に向けた企業基盤の強化を推進

(中期経営計画において、ブランド力の強化/財務体質の強化/働き方改革/SDGsの推進等も検討)

2021年11月18日臨時株主総会での決議を条件に商号の変更を予定

コーポレートブランド	登記表示	振り仮名	英語表記	略称
 global bridge HOLDINGS	株式会社global bridge HOLDINGS	グローバルブリッジ ホールディングス	global bridge HOLDINGS Co., Ltd.	gbHD
 global child care	株式会社global child care	グローバル チャイルドケア	-	gcc
 global life care	株式会社global life care	グローバル ライフケア	-	glc



2022年1月～

コーポレートブランド	登記表示	振り仮名	英語表記	略称
AIAIグループ株式会社	アイアイグループ株式会社	アイアイグループ	AIAI Group Corporation	AGC
AIAI CHILD CARE 株式会社	アイアイチャイルドケア株式会社	アイアイチャイルドケア	AIAI Child Care Corporation	ACC
AIAI LIFE CARE 株式会社	アイアイライフケア株式会社	アイアイライフケア	AIAI Life Care Corporation	ALC

コーポレートブランドを刷新し、今後、各サービスブランドの強化も検討

- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 当社の許可なく本資料の複写複製、または転送等を行うことを禁止します。